

# 市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.63

2013年9月29日

日本共産党

新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

9月議会一般質問では(質問順に)明戸和枝議員、渡辺有子議員団長、飯塚孝子議員、小山哲夫議員団副団長が質問に立ち、市の見解をいただきました。

今週は渡辺有子議員団長の質問の一部を紹介します。

## 渡辺議員 「新潟テルサ健康クラブ」 「高齢者優待制度」について質問

渡辺議員は、「新潟テルサ健康クラブ」の件には二つの大きな問題があると指摘しました。議会の議決もありません。営業を終了すると八月二十八日に会員に知らせていることが一つ。二つには、議会には、営業を終了する旨の議案であることを説明していないことです。さらに、九月六日の定例会に議案が提出される二日前の四日に利用者に説明を行い、理解を得な

いまま本会議に上程したことも指摘。こうした乱暴なやり方は市民や利用者、さらに議会を軽視した認められない行為であると強く市の姿勢を批判し、本来であれば議案を一旦取り下げるべきとの考えも示しながら質問したものです。

### 市は市民・利用者・議会を軽視する姿勢を改めよ

九月議会には、この他「老人憩の家」や「公民館」が「まちづくりセンター」に移管される議案もありましたが、こちらも利用者へのていねいな説明や対応が不十分であるとの指摘が多く出されました。

「老人憩の家」や「公民館」

のあり方検討委員会の結論が市にとって都合の良い、施設の廃止の理由にだけ使われるのでは「検討委員会」の皆さんにとっても不本意なことではないでしょうか。こんな乱暴なやり方について市は反省すべきです。

### 以下、やり取りの一部を紹介します。

問 新潟テルサ健康クラブの会員に今年度末で営業終了する旨の説明が開かれた。会員数減少による収支の悪化、来年の指定管理者の更新など、市の一方的な都合で営業を終了するとのことであり、会員の理解は到底得られるものではないと思うがどうか。

答 説明会では、存続のご意見や経営見直しの提案があったことから、今後も会員の皆様と丁寧な対応で話し合いを続けていく。

問 平成24年度高齢者おでかけ支援「シニア半割」社会実験でも、バスに乗る回数、外出回数が増加したなど効果も出ている。連動して、文化施設等の優待制度があれば一層効果が増すのではないか。

答 少子高齢社会がますます進む中において、全ての文化施設において入館料の減免など、利用促進につながる支援策についても検討をすすめる。



渡辺有子議員団長

今週の日程	
30日(月)	本会議(採決)
10月2日(水)	決算委員会
10月3日(木)	分科会
10月4日(金)	分科会
10月5日(土)	BRT市民学習会
※ 9月議会一般質問は新潟市議会HPで録画がご覧になれます。	